

実践 森づくり技術講座 第1回

開催日：2018年4月21日（土）

開催場所：鳩ノ巣フィールド（奥多摩町棚沢）

主催者：FIT 森林塾

一文紹介

森づくりに欠かせない様々な技術を基礎から学ぶ全5回の連続講座の第1回

公開記事

森づくりに欠かせない様々な技術を基礎から学ぶ全5回の連続講座の第1回。
今回は、「森づくりとノコ、ナタの使い方」をテーマに、4月21日（土）に開催しました。

（本文）

つい2週間ほど前までは、鳩ノ巣フィールドの落葉樹林の地面を覆う落葉の色がよく見えてましたが、ここのところの暖かさで、春の芽吹きが一気に加速し、この時期しか見られない美しい新緑のフィールドへと変化しました。

第1回の技術講座は、そんな心地よい春の日差しを浴びながらスタートしました。まずは、フィールド案内です。フィールド案内では、このフィールドでの活動の経緯、この場所での活動の考え方や具体的な活動内容などの紹介、活動の成果や今後の展望などについて講師から説明がありました。フィールド案内後は、森林管理活動に欠かせない手元ロープを、参加者一人一人つくってもらいました。苦勞して自分でつくった手元ロープは、今後の活動において愛着をもって使ってもらえると思います。

お昼を挟んで、ノコ・ナタの使い方についての講義と実習がありました。実習では、手鋸と大鋸を使っての玉切り、水平切り、下切りを、またナタを使った杭づくりを行いました。

その後、ロープの使用方法・基本的な結び方を学び、実際に材木の運搬を3名一組で実施してもらいました。

下山後は、ノコ・ナタの手入れを行いました。ナタ研ぎは、みなさん感覚をつかむのに苦勞されていました。

参加者の皆さんは、「ナタ・ノコの使い方や手入れの仕方を丁寧に教えていただき、道具の扱い方の基礎の大切さがよくわかった。」「これから色々と学んでいくことが多くあると思うが、楽しくやっていきたい」などの感想がありました。

報告者：森林塾事務局 松浦 重徳



フィールド案内の様子（１）



フィールド案内の様子（２）



手元ロープ作成の様子



ノコ・ナタの使い方（講義）



ノコを使った実習



道具の手入れ